

環境配慮事業者アンケート調査結果

1 目的

小平市環境配慮事業者連絡会参加事業者の環境配慮への取組や意見を把握し、（仮称）小平市第三次環境基本計画策定の基礎資料として活用する。

2 仕様

- (1) 調査期間 令和元年10月8日（火）～10月31日（木）
- (2) 調査対象 小平市環境配慮事業者連絡会参加事業者
- (3) 対象数 16事業者
- (4) 調査方法 アンケート調査用紙に記入後、回収
- (5) 集計・分析 環境政策課

3 項目

- (1) 貴事業所について
- (2) 貴事業所の環境に配慮した取組について

4 留意点

- (1) 問1から問14までである中で、問1事業者名、問2担当者名・連絡先は記載を省略し、問3から集計・分析した結果を記載している。
- (2) P2「1 貴事業所について」の(1)及び(2)の単位については事業所数で示している。
- (3) nは、質問に対する回答者数で100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

5 回答結果

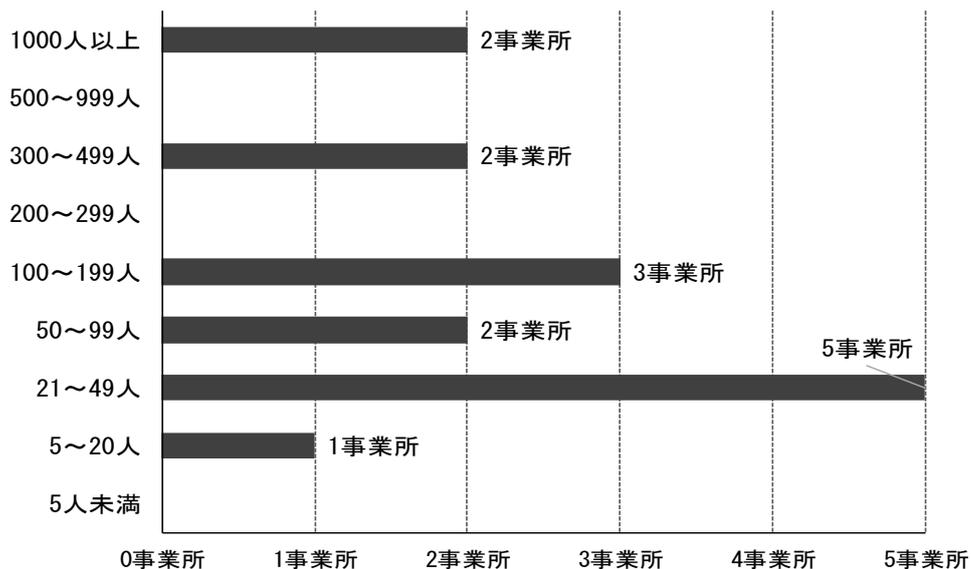
15事業者（回答率：93.75%）

6 アンケートの集計結果

(1) 貴事業所について

①従業員数

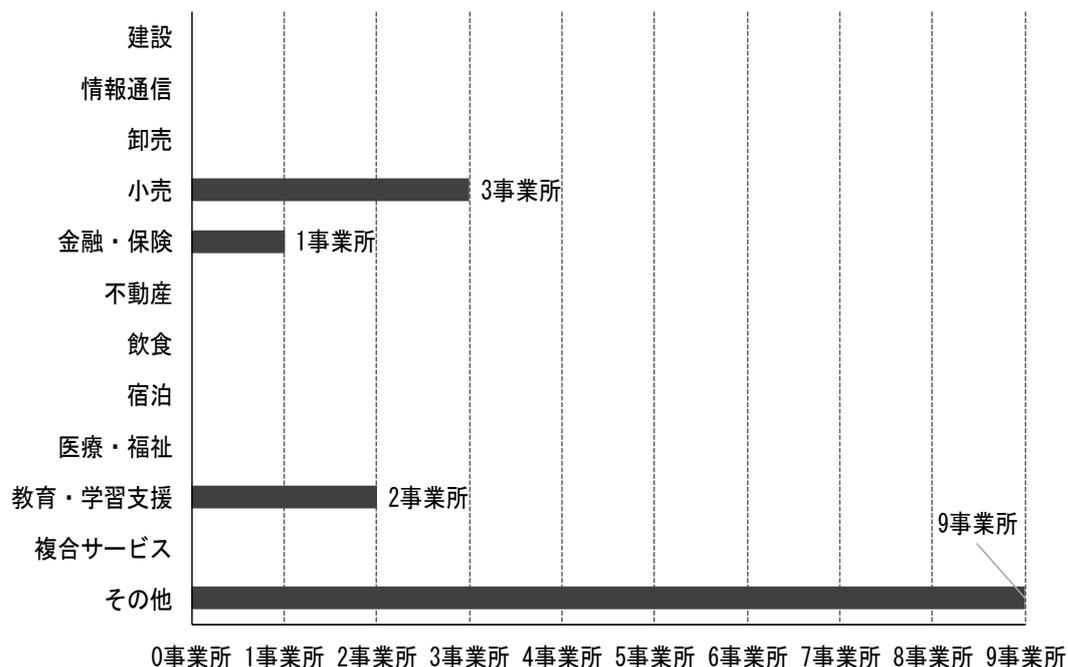
問3 貴事業所の従業員規模について、あてはまるものを一つ選んで、その数字に○をつけてください。



②事業区分

問4 貴事業所の事業区分について、あてはまるものを一つ選んで、その数字に○をつけてください。

その他の事業区分は、食品製造業、清掃業、運輸業、半導体の設計・開発、製造業、経済団体となっている。

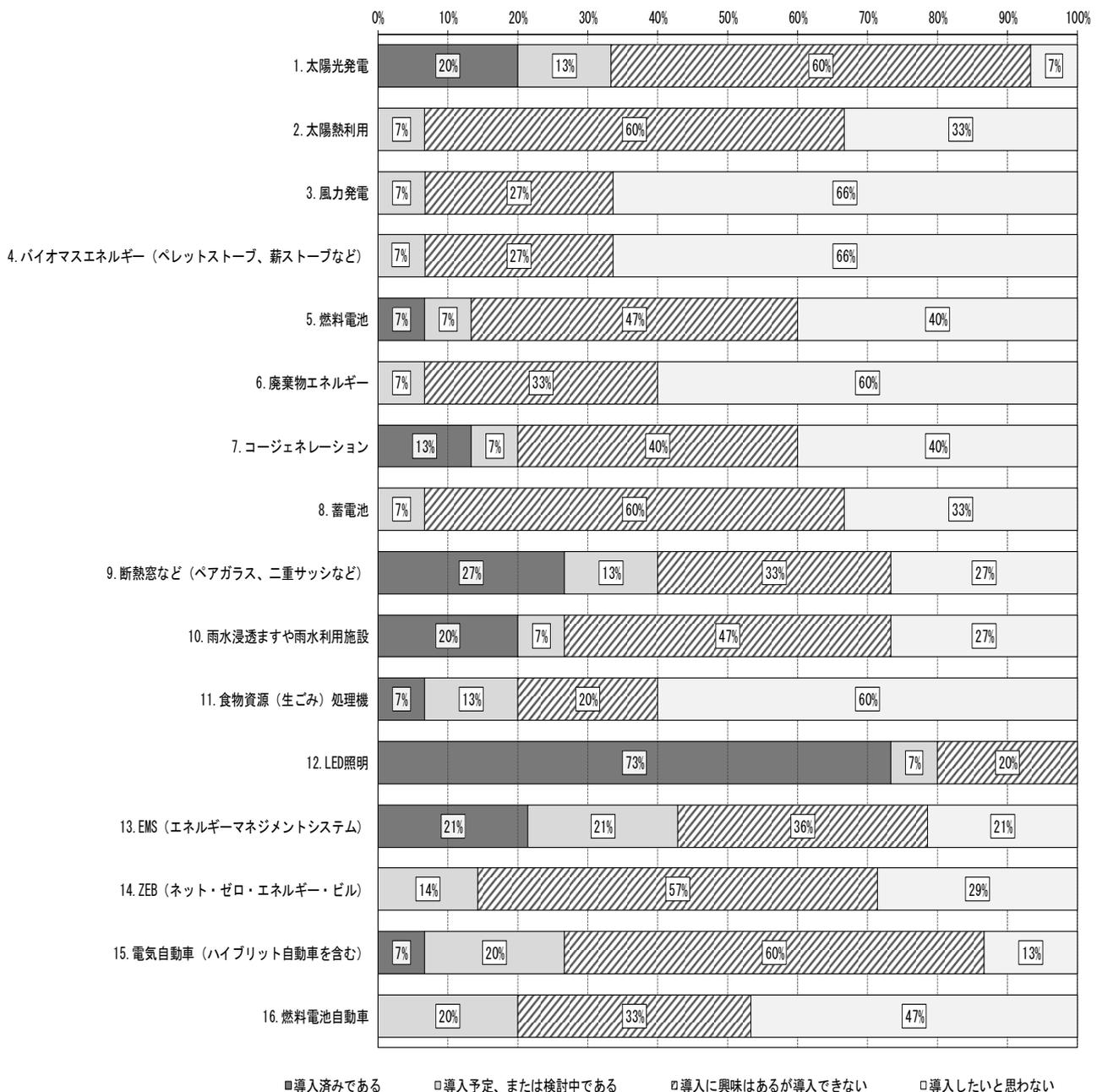


(2) 環境に配慮した取組について

①環境に配慮した設備・機器 (n=15、ZEB、EMSのみn=14)

問5 環境に配慮した設備・機器等の導入について、あてはまる数字に1つだけ○をしてください。

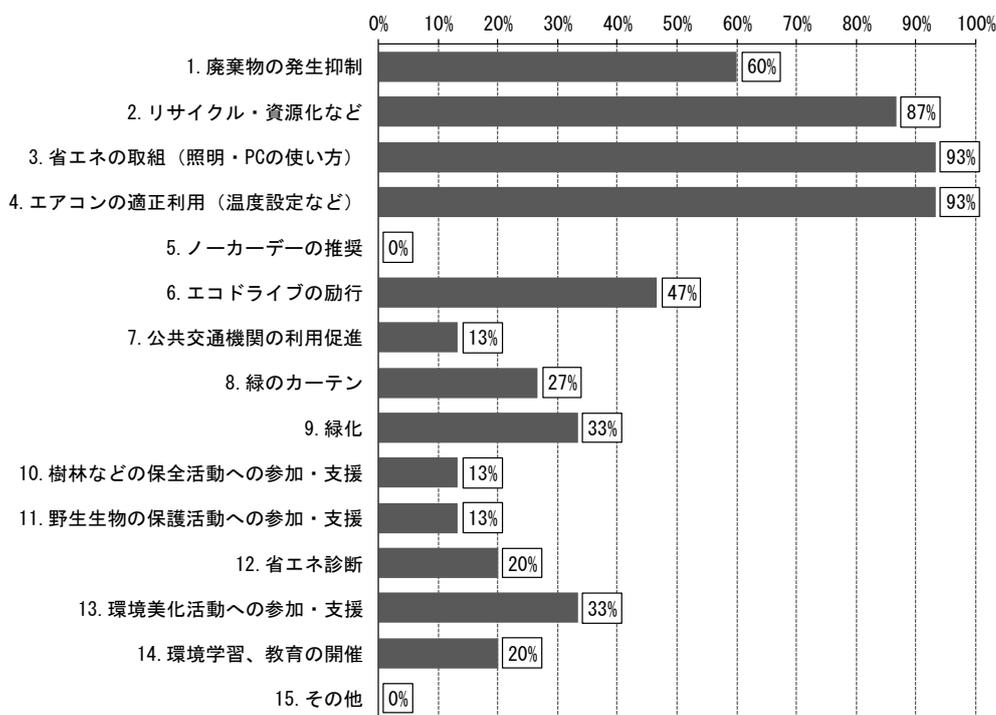
「導入済みである」、「導入予定、または検討中である」を合わせると、「LED照明」が80%と最も高く、次いで「EMS（エネルギーマネジメントシステム）」42%、「断熱窓など」40%の順となっている。導入に興味があるが導入できないについては、「太陽光発電」、「太陽熱利用」、「蓄電池」、「電気自動車」が60%以上、導入したいと思わないについては、「風力発電」、「バイオマスエネルギー」、「廃棄物エネルギー」、「食物資源（ごみ）処理機」が60%以上となっている。また、その他の導入済の設備としては、地下水設備が挙げられている。



②環境に配慮した取組（n=15）

問6 貴事業所で行っている環境に配慮した取組についてお伺いします。あてはまるものをすべて選んで、その数字に○をつけてください。

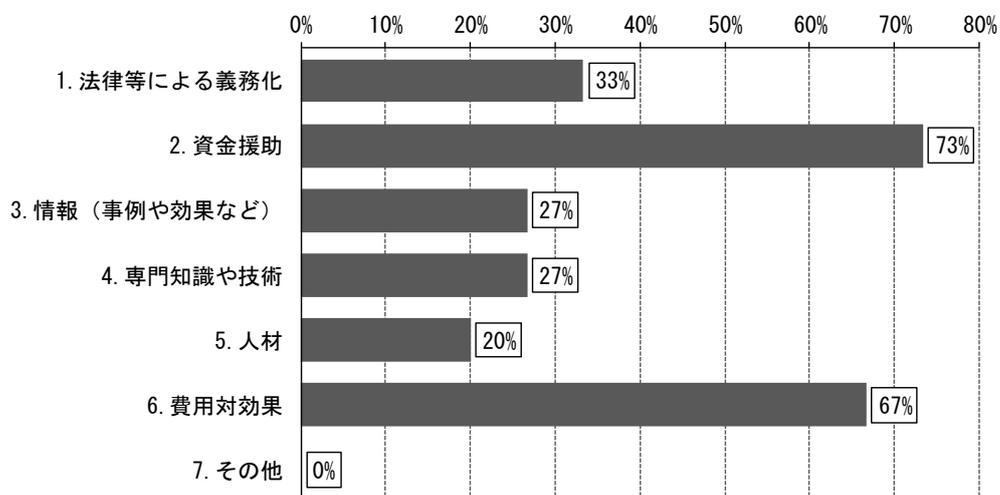
「リサイクル・資源化など」、「省エネの取組」、「エアコンの適正利用」は80%を超え、高くなっている。「公共交通機関の利用促進」、「樹林などの保全活動への参加・支援」、「野生生物の保護活動への参加・支援」は20%未満となり、「ノーカーデーの推奨」については、どの事業者も実施していない。



③環境に配慮した取組、設備・機器等の導入を進めるために必要なこと（n=15）

問7 環境に配慮した取組、設備・機器等の導入を進めるために、何が必要とお考えですか。あてはまるものをすべて選んで、その数字に○をつけてください。

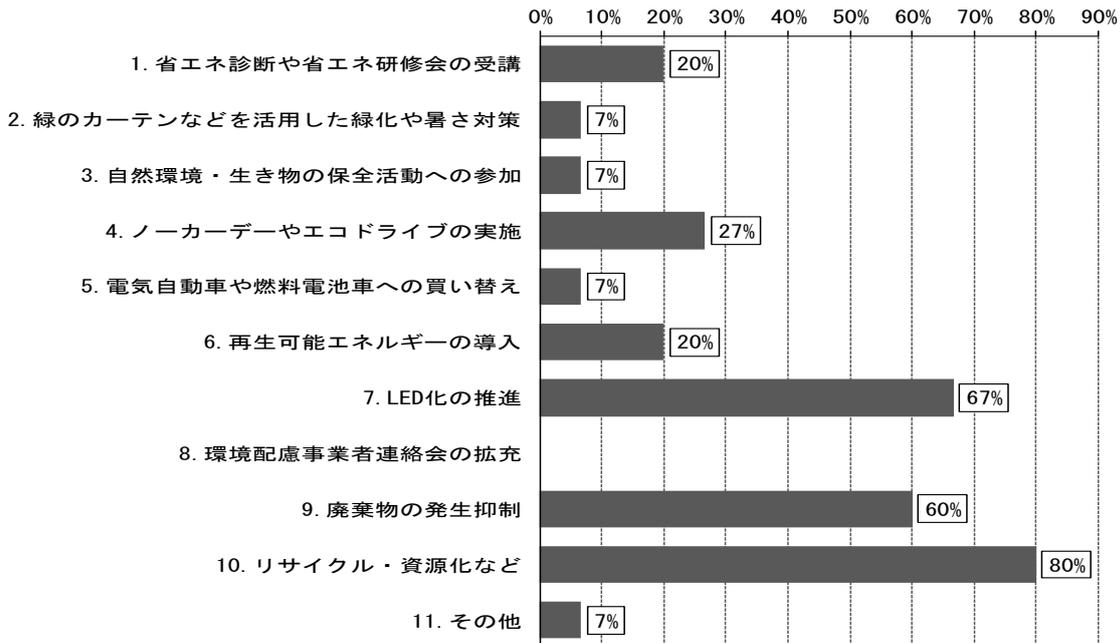
「資金援助」が73%、「費用対効果」が67%と高くなっている。



④持続可能な社会や循環型社会を形成していく上で重要と考える取組（n=15）

問8 持続可能な社会や循環型社会を形成していく上で、貴事業所として重要と考える取組について、3つ選んで、その数字に○をつけてください。

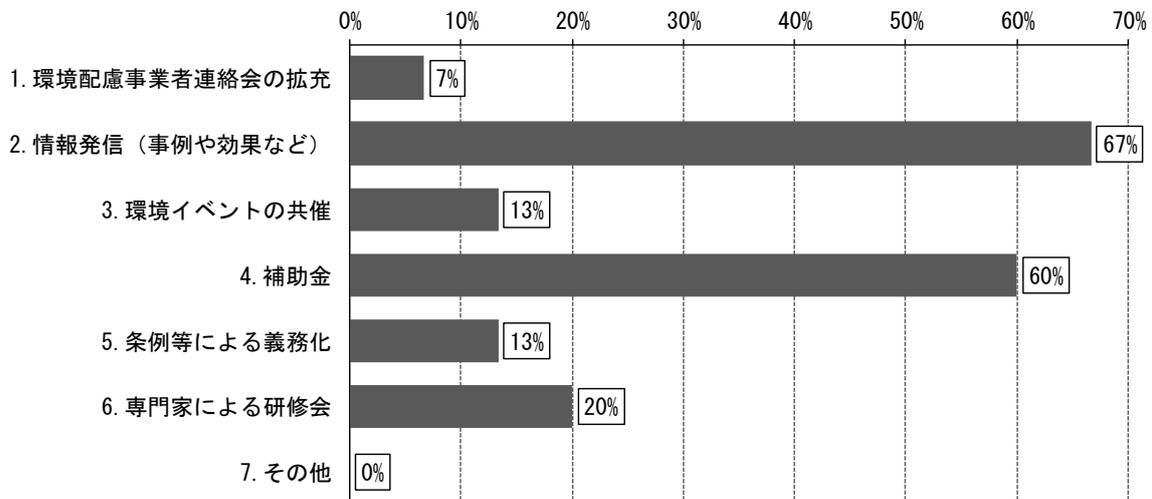
「リサイクル・資源化など」が80%と高く、次いで「LED化の推進」が67%、「廃棄物の発生抑制」が60%の順となっている。「緑のカーテンなどを活用した緑化や暑さ対策」、「自然環境・生き物の保全活動への参加」、「電気自動車や燃料電池車への買い替え」、「環境配慮事業者連絡会の拡充」は10%未満となっている。その他の重要と考える取組は「機器の省エネ推進や高効率機器へのリプレース」が挙げられている。



⑤今後、環境に配慮した取組を進めていくために、市に求める取組（n=15）

問9 今後、環境に配慮した取組を進めていくために、市に求める取組はありますか。

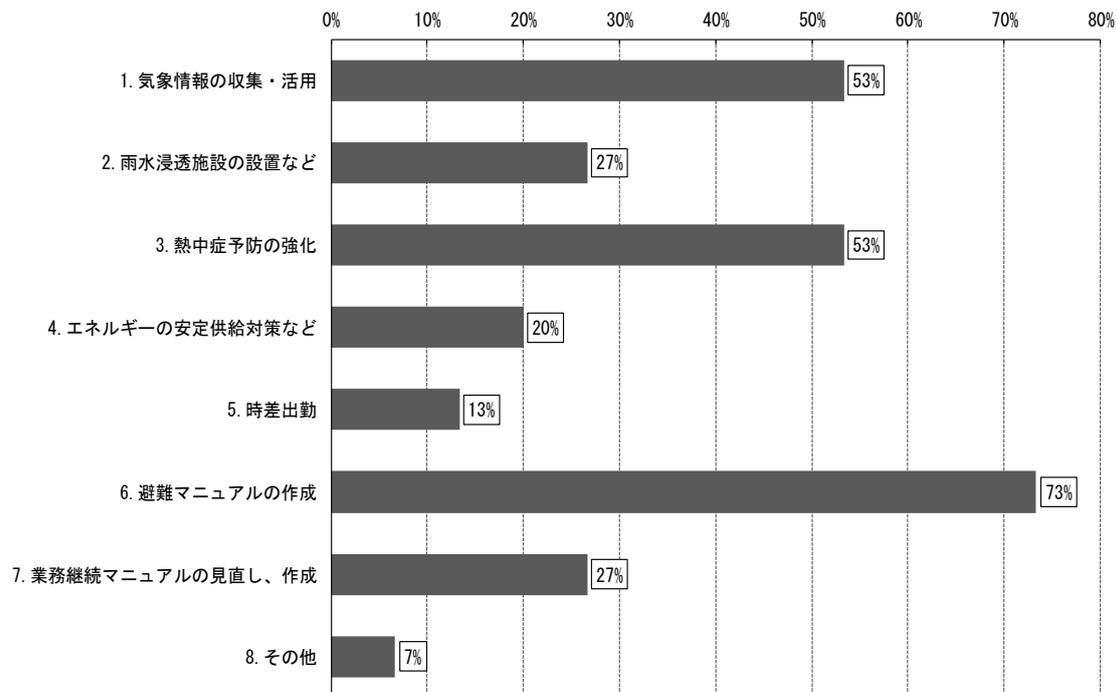
「情報発信」が67%、「補助金」が60%と高く、他は20%以下と低くなっている。



⑥気候変動の影響（災害級の暑さや豪雨など）に適応するために取り組んでいること（n=15）

問10 気候変動の影響（災害級の暑さや豪雨など）に適応するため、取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて選んで、その数字に○をつけてください。

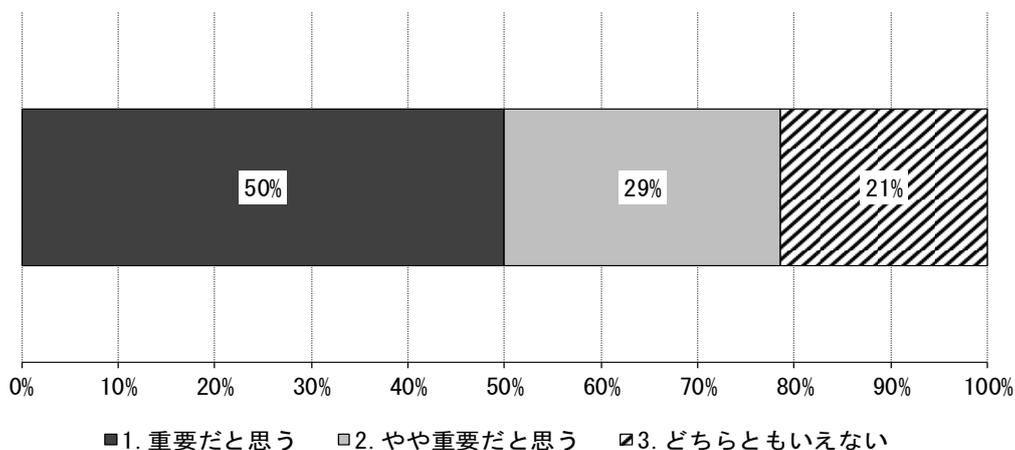
「避難マニュアルの作成」が73%と高く、次いで「気象情報の収集・活用」が53%、「熱中症予防の強化」が53%となっている。「エネルギーの安定供給対策など」、「時差出勤」は、20%以下と低くなっている。その他の取組として、「保険付きの保守業務」、「テレワークの導入」が挙げられている。



⑦生物多様性の保全に関する取組の重要性（n=14）

問11 貴事業所は、生物多様性の保全に関する取組について、重要だと思いますか。あてはまるものを1つ選んで、その数字に○をつけてください。

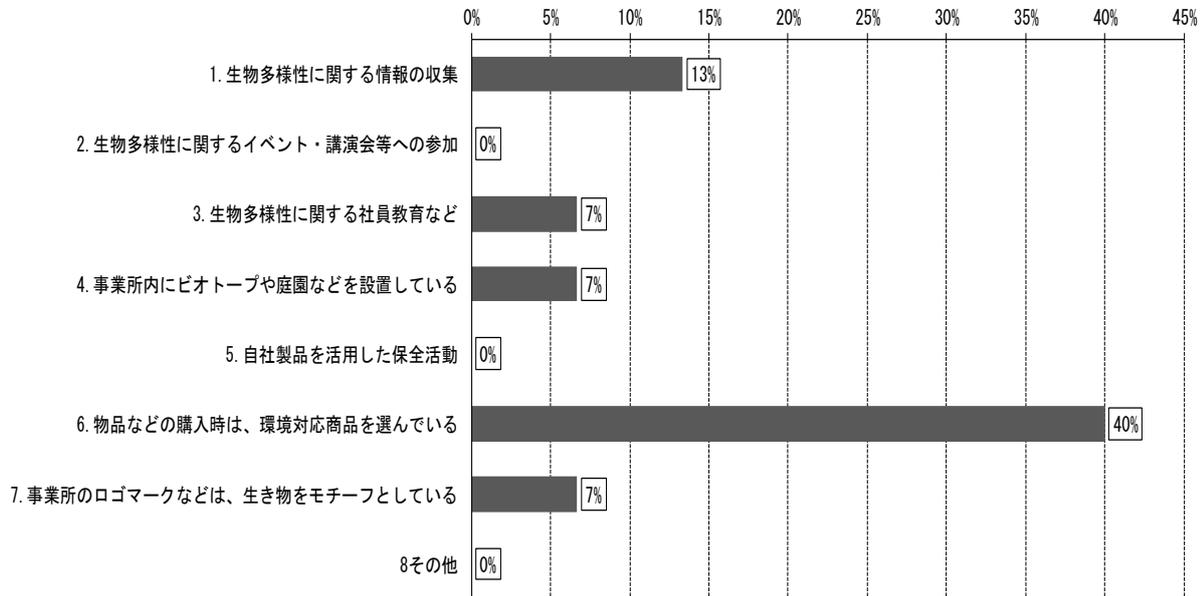
「重要だと思う」、「やや重要だと思う」を合わせると79%となっている。



⑧生物多様性の保全の取組（n=15）

問1 2 生物多様性の保全について、何か取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて選んで、その数字に○をつけてください。

「物品などの購入時は、環境対応商品を選んでいる」が40%となり、それ以外は20%未満となっている。



⑨環境配慮事業者連絡会を充実させるために、必要な取組やその他の意見

問1 3 今後、環境配慮事業者連絡会を充実させていくために、必要な取組やその他ご意見がありましたらご記入ください。

具体的な取組の紹介・見学、小平市の計画・方針の啓蒙や浸透、全企業参加のイベント。

定期的で開催され、他事業者の意見が聞ければと思う。

ゴミ処理施設等の見学会や情報交換等が出来る懇親会の実施など、特に近隣自治会との交流。

⑩数値目標や従業員向けの取組

問1 4 市では地球温暖化対策を推進するための計画を定め、数値目標を設定し、全職員で環境に配慮した行動に取り組んでいます。貴事業所で掲げる数値目標や従業員向けの取組などがありましたら以下のシートに記入をお願いいたします。

数値目標、取組目標	目標達成に向けた具体的な行動
<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション 21 の手順に沿って活動を進め、環境経営に必要な組織機能と運用手順を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の定量評価（エネルギー使用量、原単位使用量等）を毎月実施し、進捗を管理する。 ・ハードウェア（遮熱板、LED、コンプレッサ等）を見直し、省エネ活動を推進する。 ・省エネルギーキャンペーンを実施し、会社全体で取組を行うことにより、従業員への浸透を

	<p>促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の適正管理を行い、廃棄物の削減と、ゼロ・エミッションに向けた取組を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・省エネに関して、電気使用量に年度目標を設定し、毎月実績を確認 ・3か月に1回、関係者を招集し会議を開催し、目標の達成度や課題を共有 ・東京都環境確保条例の指定温暖化対策事業者として、特定温室効果ガス排出量の削減を義務付けられており、上記省エネにて推進 ・削減義務 <p>基準排出量の15%削減（第2計画期間2015-2019年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空調の最適化 ・機器の稼働管理による不用機器の停止 ・サーバー室のエアフロー調整 ・高効率機器への計画的なリプレース
<ul style="list-style-type: none"> ・東京都の地球温暖化対策の基準をクリア（自事業所で排出量を賄う）する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器の導入・更新（主に空調機や照明機器） ・空調機の自動制御（定時停止や運転制御）
<ul style="list-style-type: none"> ・電気、ガス、水道の削減率 ・コピー用紙の削減率 ・事務用品のエコ比率 ・廃棄物のリサイクル率 ・環境配慮製品の設計・比率 	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩時の照明の消灯 ・FAXは自動で印刷しないように設定している。
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より電気使用量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない電気をこまめに消す。 ・冷暖房を冷やしすぎず、温めすぎず、つけっぱなしを避けるなど。
<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した自動販売機の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・13時～16時の電力ピーク時に冷却運転を停止するエコ・ベンダーの設置や新LED照明の積極導入
<ul style="list-style-type: none"> ・運送業のため、日々の運転により地球にやさしい運転をするように指導している。 ・同時に低燃費での走行を指導しており、目標燃費はトラックの種類や時期によって達成可能な数値に設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの推進 ・グリーンエコプロジェクトを利用して燃費等をドライバーに分かりやすく示し指導に役立てている。
<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量は、前年値に対して、少しでも削減するように務める。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・原油換算原単位対前年1%削減 ・CO2排出量5年で15%削減 ・廃棄物削減対前年1%削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・インバーターの導入・LED照明への切替 ・トップランナー機器への入替 ・高効率モーター導入
<ul style="list-style-type: none"> ・2030年度までに2013年度電気量の温室効果ガス換算で26%減 	<ul style="list-style-type: none"> ・電力会社の省エネシステムを導入予定

賛同・パートナー企業	認証制度
COOL CHOICE（1事業者）	ISO14001（4事業者）